



令和7年度泉崎村子ども議会を開催

1月22日(木) 村役場議場で令和7年度泉崎村子ども議会を開催しました。

本事業は、未来を担う子どもたちが、泉崎村の身近な地域の問題や将来のまちづくり、教育の問題等を質問したり、意見や提言を発表したりする村議会の模擬体験を行うことで、行政や議会の仕組みを学び、村政・議会活動への関心を高めることを目的として開催され、今年で9回目となります。

村内の小中学生12名の子ども議員の皆さんが、1部は小学生、2部は中学生に分かれて、それぞれ村づくりについて質問し、それに対して担当課長らが丁寧に答弁しました。

最後に箭内村長より全体を通して講評がありました。



いとう あいり
伊藤 愛理 議長(一小)



すずき はると
鈴木 悠仁 議長(二小)



みどりかわ ゆい
緑川 優音 議長(中学校)

くぼき りしゅう
久保木 里秋 議員(一小)

泉崎図書館の利用状況と来館者数向上の方策について

私は本を読むことが大好きです。1か月に30冊以上の本を読んでいます。学校の図書室だけでなく、泉崎図書館にも行って本を借りることが多いです。そんな私ですが、今年初めて白河市立図書館に連れて行っていただきました。2階建ての大きな建物にまず驚き、中に入って並んでいる本の多さに再度驚きました。

施設の大きさや蔵書数の多さを比較しても仕方ないことですが、白河市の図書館ではCDやDVDの貸し出しもしています。またマンガ本も貸し出ししていることに魅力を感じましたが、泉崎村の図書館では、今後そういうものの貸し出しなども予定しているかどうかを伺いたいと思います。

答 はじめに、泉崎図書館の令和6年度、令和6年4月から令和7年3月までの1年間の利用状況については、貸し出した冊数14,727冊、貸し出した人数2,763人、貸し出した人数を含め図書館に来られた全体の人数である来館者数4,193人でありました。開館していた日数で、平均をみてみますと、1日あたり、貸し出した冊数50冊、貸し出した人数9人、来館者数14人となります。また、今年度の令和7年4月から12月までの利用状況については、先ほどと同じく、1日あたりの平均を出してみると、貸し出した冊数48冊、貸し出した人数10人、来館者数14人となっており、令和7年度は、今のところ、令和6年度と同じような利用状況になっています。

次に、来館者数向上の方策として、CDやDVD、マンガ本の貸し出しについてですが、CDとDVDについては、現在図書館では貸し出し用などとして整備はしていない状況です。CDやDVDを聞いたり見たりする視聴覚室の整備や保管しておくスペースを確保する必要があり、なかなか難しいため、現在のところは、整備して貸し出し等を行う予定はありません。また、マンガ本については、大人気の「ワンピース」を1巻～112巻まで揃えており、その他にも「キングダム」や「火の鳥」、藤子・F・不二雄の作品集、源氏物語のマンガ版である「あさきゆめみし」などを揃えていますので、利用してほしいと思います。なお、図書購入については、予算の制限もありますので、今後も時代のニーズを踏まえ吟味しながら行っていきたいと考えております。





泉崎村の「熊」対策について

全国的に熊の目撃や農作物の被害、そして人の命も奪われるという悲劇が起っています。熊の出没は年を追うごとに増加していて、泉崎村でも私の住む踏瀬地区で目撃されたという情報がありました。学校の登下校は、車で送迎してもらう子どもは多いですが、登校班で歩いてくる子どももいます。事故だけでなく、熊に注意しなければならないと思いますが、村として何か対策を考えているのかお聞かせください。

また、村内にいる熊は、基本的に処分されるのか、または捕獲するのか、具体的な対策についても伺いたいです。

答 熊に対する対策としましては、『鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律』及び『福島県ツキノワグマ第4期管理計画』に基づき実施しております。また、村民への情報提供としては、村内防災無線や泉崎村公式ホームページで注意喚起し、熊の出没警報等をお知らせしております。さらに、昨年10月からは、いずみぎ公式LINEの共有でも情報発信を実施するなど、素早い注意喚起に努めております。

次に、直近3年間の熊出沒による捕獲等の状況ですが、令和7年度は目撃件数6件、捕獲頭数0頭、令和6年度は目撃件数5件、3頭捕獲し、すべて殺処分、令和5年度は目撃件数2件、1頭捕獲し、殺処分しております。人への危害の恐れが非常に高い場合は、有害捕獲により駆除することとされており、基本的には殺処分を行っております。国の最新の調査では、死者数が過去最多の12名、人身被害者数も過去最多を記録した令和5年と同水準で、本村としても注視している状況です。

答 教育委員会としましては、まず、熊出沒の情報を得た時は、幼稚園・小学校・中学校へ電子メールなどで出沒した場所や日時、頭数などを知らせることとしております。

登下校時の対応についてですが、教育委員会として、野生動物(熊等)出沒時対応マニュアルを作成し、各学校と共通理解を図り対応できる体制を整えております。また、学校の敷地内に侵入した場合の対応なども定めていますので、マニュアルを基に安全対策に努めていくこととしております。

あき しゅんせい
秋 俊成議員(一小)

猛暑が続く近年における学校プール並びに村民プールの使用について

毎年のように暑い夏で、福島県も連日のように35度以上の日が続きました。学校でも6月後半から7月の1学期は毎日のようにプールに入りました。ですが、学校のプールは老朽化が進み、今年度は機械系の故障が度々続いたそうです。

このようなことは、全国的にみられ、学校プールの使用をやめ、各自治体のプールを使用するようになった学校もあるそうです。泉崎村にも、村民プールがありますが、授業としてのプール開放は可能でしょうか。可能であるならば、夏休み明けの2学期前半の暑い時期にも、体育の授業としてプールに入ることができると思います。

答 学校のプールは老朽化しており、これまでもいろいろな修理をしながら使用してきた状況にあります。そうした中、全国的な例によりますと、老朽化の問題や維持管理などの面から、自治体のプールや民間施設のプールを使用している学校があることも承知をしているところです。

例年、さつき公園プールについては、6月下旬から8月末頃まで使用できるようにしており、学校にプール施設のない泉崎中学校では、夏休みの一般開放期間を除いて、授業としてさつき公園プールを使用しています。小学校においては、第一小学校、第二小学校ともに、1学期の6月後半ぐらいから夏休み前までは、各学校のプールに入ると思います。施設は老朽化していますが、必要な修理は村として行いますので、その期間は学校のプールを使用してほしいと思います。

2学期前半のさつき公園プールの授業としての開放についてですが、それについては、いくつかの課題があります。

1つは、プールは学校の体育の授業で入りますが、体育の時間ではプールでの水泳以外にも学ばなければいけないことがあり、プールの時間をより多く設けることは難しいということがあります。また、学校とさつき公園プールとの間の移動手段のことがあります。バスの利用が第一に考えられますが、同じ村内にある第二小学校の利用もありますので、運転する人の手配やバスの確保が課題になり、移動にかかる時間のことも考える必要があります。その他、さつき公園プールの使用できる期間を延ばすと、水道代や電気代、薬品代など維持管理にかかるお金についても、現実的に今よりも多く必要になってきます。

以上のことより、2学期前半の開放は難しいと考えますが、まずは学校教育を担当する教育委員会や学校の先生方との会議などでご意見を共有し、今後の参考に使いたいと思います。





給食の食器の種類を増やしてほしい

泉崎村は給食費が無料であり、毎日栄養のある食事をとることができます。給食は、学校生活においてとても楽しい時間です。だからこそ、もっと食べやすくなればよいと考えます。具体的には、うどんやラーメンの日にはどんぶりのような大きい器を、大人気メニューのカレーの日にはカレーとご飯を一緒によそうことができるような器に変更してほしいです。

幼稚園、小学校、中学校、すべての食器を購入することは大変かもしれませんが、食べやすい食器になれば、こぼすことなく安全に食べられたり、残菜が減ったりして子どもたちがもっと健康になると思います。

答 確かに現在、うどんやラーメン、カレーの時、器が小さく、数回に分けて入れながら食べているのかと思います。食べづらいことなどもあり、以前から大きい器がほしいといった要望がありました。仮に、新たに食器を整備した場合、それらを殺菌・保管しておく保管庫も必要になりますが、現在の給食センターでは、設置する部屋の面積が狭く、置く場所がないため、要望に応えることができない状況にあります。

なお、現在の給食センターは昭和50年に建設され、老朽化しているため、令和9年4月からの稼働を目指して、新しい給食センターの建設に取り組んでおりますが、建設に併せて食器類の整備も考えており、どんぶりやカレー皿についても購入する計画としていますので、どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

あいた こうき

会田 光希議員(二小)

子どもたちが交流できるようなイベントや居場所をつくってほしい

泉崎村は幼稚園と中学校は1つずつですが、小学校が2つに分かれているため、中学校に入った時に少し気まずい思いをすることがあるそうです。そこで、子どもたちが交流できるようなイベントや居場所をつくってほしいです。例えば、小学6年生で行う異文化体験学習のような、2つの小学校の子どもたちが一緒に活動できる機会がもっとあるといいと思います。

また、他の市町村にある子ども食堂のような、定期的集まってご飯を食べたり遊んだり、勉強したりする居場所もあるとうれしいです。集まる場所をつくることで、増えてきている空き家の有効活用にもつながるのではないのでしょうか。

答 確かに今、教育課程の中において、合同で行うものは、異文化体験事業のみかと思います。今回のご質問は、貴重なご意見として、教育委員会の中や学校の先生方との会議等で共有し、今後の学校教育についての参考とさせていただきたいと思っております。

また、中央公民館や図書館においては、一小・二小関係なく小学生を対象にした教室やイベントがありますので、そうしたものに参加してお互い交流するのも1つだと思いますので、ぜひ参加していただきたいと思っております。

答 現在、村には子ども食堂を主催する団体等はございませんが、昨年11月に図書館において、福島県南地域子どもの居場所ネットワークの主催で、子ども食堂を開催いたしました。およそ15組の児童の参加がございました。

今後において、主催を検討している団体や個人の方から、子ども食堂の場所などで相談を受けた場合は、公共施設や空き家などの活用も検討していきたいと思っております。少しでも早く村内に子ども食堂が開設できるように、多くの方に周知を図り進めていきたいと考えております。

また、居場所づくりの事業は、子ども食堂に限られた事業ではありませんので、今後の村の事業と併せて検討したいと思っております。



泉崎二小学区でも本を借りられるように、移動図書館をつくってほしい

私は、本を読むことが好きで、図書館にもよく本を借りに行きます。毎月届く学級文庫も、いつも楽しみにしています。泉崎図書館には、子どもでもわかりやすい専門書があるので、もっと本を借りたいのですが、一小学区に自分たちだけで行くことは、小学生のうちにはできません。

だから、移動図書館をつくってほしいのです。普段はあまり図書館まで行かない人も、近くにあれば「読んでみようかな」と思うかもしれません。それに、もし本以外にカードゲームやボードゲームも借りられれば、メディアコントロールにもつながります。

答 泉崎図書館では、現在、学級文庫として、第一小学校、第二小学校、中学校に対して、毎月、各クラスへ30冊の本の貸し出しを行っておりますが、移動図書館については、二小学区に限らず、太田川地区や踏瀬地区なども含め、移動手段のない方が気軽に本と接する機会が増えるため大変良い方法で、より多くの方に本の魅力を届けられると思っております。

しかし、それを実施するにあたっては、次のような課題があるかと思っております。1つは、移動図書館用の車を整備する必要があります。もう1つは、移動図書館を行うために、車の運転や図書貸し出しなどをする人が必要になります。そして、それらには多くのお金が必要になります。

泉崎村においては、皆さんが「住んでいてよかった」と思えるように、いろいろな事業を行っておりますので、今すぐ移動図書館を整備するのは難しいですが、貴重なご意見として、今後の村づくりの参考にしたいと思っております。

また、カードゲームやボードゲームの貸し出しがあれば、メディアコントロールにもつながるとのご意見ですが、白河市の図書館に確認したところ、約30点のカードゲームやボードゲームを揃えているということでした。泉崎図書館では、現在、揃えているものはありませんが、メディアコントロールという視点からの貴重なご意見として、住民の方の要望などを更に踏まえ、状況を見ながら検討してまいりたいと考えております。

中野目 颯仁 議員(中学校)

体育館の雨漏りについて

体育館の雨漏りが続いており、避難所に指定されている以上、雨漏りが発生しては避難してきた人々が不便だと思います。早急に修理してもらえないでしょうか。

答 中学校体育館は完成から37年が経過しており、各所に経年劣化が見られる状況となっております。ご質問の雨漏りに関しては、これまでの間、平成27年に吊り天井の撤去及び改修工事を行い、その後、平成28年には屋根改修工事を行い、防水対策を行いました。その後も幾度か修理をし、昨年も6月頃に屋根の目地補修を行っておりますが、未だ明確に雨水の流入経路が特定できていない状況となっております。

今後についてですが、雨漏りの状況として、横殴りの強い雨の場合に確認されることが多いため、今年度中を目途に高圧洗浄を活用した調査などを行い、雨水の流入経路の特定につなげたいと考えております。

ご質問にあるとおり、中学校は避難所にも指定されており、何より体育施設として安全を優先する必要がありますので、調査を行い、引き続き必要な修繕・改修を行ってまいりたいと考えております。



もとやなぎ さら
本柳 沙愛 議員(中学校)

道路の整備について

通学路がでこぼこしており、自転車に乗っていると危険を感じるという意見があります。これは中学生に限った話ではないので、整備してもらえないでしょうか。

答 通学路がでこぼこしていて、自転車に乗ると危険を感じるというご意見は、皆さんが毎日使っている道だからこそ気づける、とても大切な声だと思います。ご指摘のとおり、通学路の安全は中学生だけでなく、小学生や高齢の方、地域の多くの皆さんにとっても大変重要なことです。道路の傷みや段差があると、転倒や事故につながるおそれがあり、村としても安全な道路づくり

は大切な課題だと考えています。

一方で、村内には多くの道路があり、限られた予算や人員の中で、どこから整備を進めるかを慎重に考える必要があります。そのため、すぐにすべての場所を直すことは難しいのが現状です。

しかし、今回のように、実際に利用している皆さんから危険だという声を聞くことは、今後の道路整備を考える上でとても重要です。いただいたご意見については、現地の状況を確認し、学校や関係する部署とも相談しながら、どのような対応ができるか、村としてしっかり検討していきたいと考えています。

これからも、皆さんが安心して通学できる環境をつくるために、今回のような意見を大切にしていきます。貴重なご質問をありがとうございました。

溝口 響生 議員(中学校)

街灯について

昨年度も質問させていただきましたが、街灯を設置してほしいという意見が多数あります。今年度中に街灯はどこに何台、新たに設置をしたのでしょうか？

また、変電所周辺、カントリーヴィレッジからアンダーパスまでの道、ミニストップ周辺なども街灯が少なく、危険だと思います。

答 本村では、夜間の視界確保、交通の安全や防犯効果の向上を目的として、村内全域に街灯(防犯灯)を設置しております。村が、電力会社と街灯として契約を行い、電気料金の請求書をいただいている数は、令和7年12月末現在で1,088基、つまり、1,088箇所に街灯が設置されています。

また、街灯の設置につきましては、行政区や自治組合など各地区からの要望を受け、現地の状況を確認した上で、設置の可否について協議を行い、優先順位をつけながら、限られた予算の中で、設置や修繕を行っているところであります。

ご質問にありました、今年度、令和7年4月から12月末現在の設置状況について、新たに設置したのは、太田川地区に2基となっております。

参考となりますが、交換・修繕を行った数は、村内全体で21基、内訳としまして、川崎地区で14基、関平地区で7基となっております。

今後も、街灯(防犯灯)の設置につきましては、さらなる地域の安全性を高めるため、地域の要望に応えるべく、適切な場所を選定しながら、設置や修繕を行ってまいりたいと考えておりますので、皆さんがお住まいの地域で、下校時に通学路が暗くて不安であるなど、ここに街灯があった方が良いのではないかと思います地域がありましたら、学校の先生に一度、相談していただけないでしょうか。よろしく願いいたします。



筋内村長より全体を通してお話がありました。

「泉崎図書館の利用状況と来館者数向上の方策」について

泉崎図書館の利用促進に向け、マンガ本は既に貸し出しを行っています。CD・DVDについては、視聴覚室の整備や保管スペースの確保が課題となり、現在は実施していませんが、今後は時代のニーズを踏まえ、来館者数の向上につながる方策として検討していきます。

「泉崎村の熊対策」について

令和7年は全国で熊による人的被害が発生していることから、村では福島県のガイドラインに基づき対策を実施しています。目撃情報があった際は、学校等へ速やかに連絡し注意喚起を行うとともに、対応マニュアルを作成し体制を整備しています。熊は予測できないため、日頃から十分な注意が必要です。

「猛暑が続く近年における学校プール並びに村民プールの使用」について

学校プールは老朽化や機械故障が多い状況ですが、村では必要な修理を行い、使用できるよう対応しています。さつき公園プールの活用については、移動手段や時間、財源面の課題から現時点では困難ですが、教育委員会や学校と意見を共有し、今後の参考としていきます。

「給食の食器の種類を増やしてほしい」について

給食は成長に必要な栄養を含む大切なもので、残さず食べてほしいと考えています。給食センターは老朽化のため令和8年度に建替予定で、令和9年度から新施設での提供となります。新センターでは調理設備や食器を見直し、要望のあったどんぶりやカレー皿の導入を検討しています。

「子どもたちが交流できるようなイベントや居場所をつくってほしい」について

村では、小学校が分かれることで児童同士が交流する機会が少ない現状がありますが、公民館等を中心に小学生も参加できる事業を企画しています。また、子ども食堂は未設置ですが、昨年図書館で民間団体主催の開催実績があり、今後は子どもの居場所づくりとして、設置や関連事業について検討していきます。

「泉崎二小学区でも本を借りられるように、移動図書館をつくってほしい」について

移動図書館は、移動手段のない方が本に親しむ機会を広げる有効な方法と考えていますが、車両整備や人員確保の課題から、早期の実施は難しい状況です。貴重なご意見として今後の施策の参考とするとともに、カードゲームやボードゲームの活用についても、状況を見ながら検討していきます。

「体育館の雨漏り」について

中学校体育館は避難所に指定されている重要な施設ですが、現在、雨漏りが続いています。これまで修繕を重ねてきたものの、原因の特定に至っておらず、今後は流入経路の調査を行う予定です。災害時に万全の体制を確保するため、雨漏り対策を進めていきます。

「道路の整備」について

通学路の凹凸による危険性については、日常的に利用しているからこそ気づける大切な意見と受け止めています。道路は多くの方が利用するため、村では危険箇所の把握と安全な道路整備に努めていますが、住民の皆さまからの情報提供も重要です。今後も多方面の声を踏まえ、安全管理に取り組んでいきます。

「街灯」について

街灯は夜の安全や防犯のために村内に設置しています。今回、危険な場所をご指摘いただきましたので、計画に沿って優先度をつけながら、新設や修繕を進め、皆さんが安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。

議会全体を通して

今回の子ども議会では、9名の議員の皆さんから、教育や防犯など幅広い視点での確かな質問や提案をいただきました。普段当たり前と思っていることでも、見る角度や立場によって新たな発見があることを感じさせられました。各質問には担当課長が答弁しましたが、すぐに対応できるもの、時間をかけて検討が必要なもの、今後の参考とするものなどに分かれます。子ども議会は年1回の開催ですが、その間に気づいたことがあれば、学校を通じてぜひ情報提供をお願いします。

本日はありがとうございました。

Izumizaki-Country Village Spring Party Plan 2026 3.1~4.30

各種宴会・食事会 ご予約承ります。

~~個室で少人数のお食事会から レストラン貸切 100名立食パーティーまで 多種多様な宴会プランをご提案いたします~~

個室宴会プラン1人
料理代 室料込み 5,500円~

宴会プラン1人
料理・飲み放題 2H付き 6,500円~

用途に合わせてご提案いたします。お気軽にお問合せ下さい。



SPA&SPORTS PUBLIC HOTEL Izumizaki Country Village
泉崎さつき温泉 泉崎カントリーヴィレッジ
e-mail : spa@izumizaki-cv.com ☎53-4211

公式SNSこちらでもチェック!

